

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジあり)」は、このたび、第165期の決算を行いました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券を中心に、他、転換社債 (CB) 等に実質的に投資を行い、投資信託財産の安定した収益の確保と着実な成長を目指して運用を行いました。

「為替ヘッジあり」においては、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指しました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第165期末 (2026年 5月18日)

基準価額	4,295円
純資産総額	421百万円
第160期～第165期	
騰落率	0.4%
分配金 (税引前) 合計	120円

(注) 騰落率は分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書 (全体版) に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書 (全体版) は、SBI 岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書 (全体版) は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書 (全体版) の閲覧・ダウンロード方法＞
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書 (全体版) を閲覧およびダウンロードすることができます。

アジア ハイ・イールド・ プラス (毎月決算型) (為替ヘッジあり)

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2025年11月18日～2026年 5月18日

交付運用報告書

第160期 (決算日2025年12月17日) 第163期 (決算日2026年 3月17日)

第161期 (決算日2026年 1月19日) 第164期 (決算日2026年 4月17日)

第162期 (決算日2026年 2月17日) 第165期 (決算日2026年 5月18日)

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

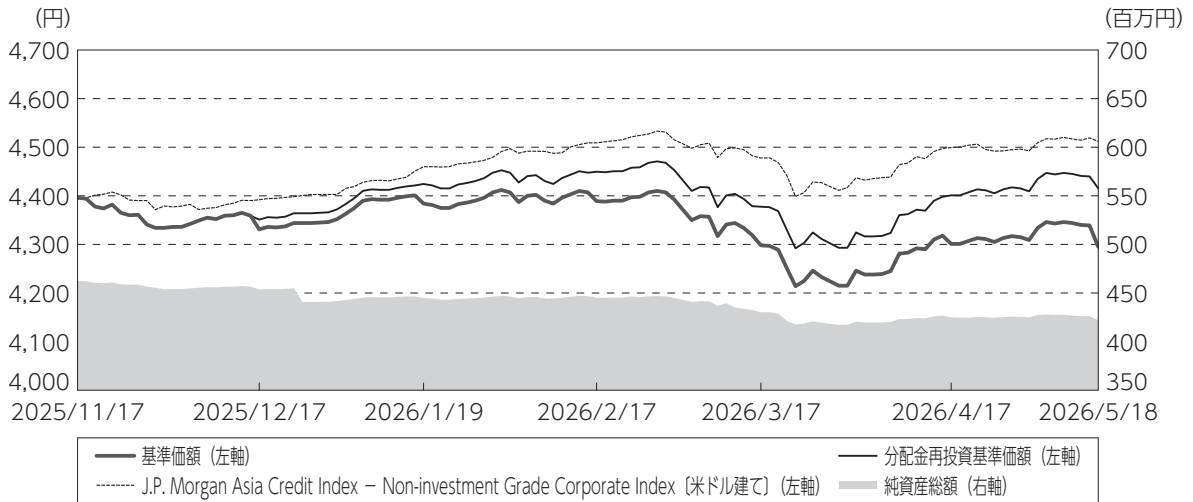
■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ
03-3516-1300 (受付時間：営業日の9:00～17:00)

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2025年11月18日～2026年5月18日)



第160期首：4,396円

第165期末：4,295円 (既払分配金(税引前)：120円)

騰落率：0.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て] です。参考指数は、当該日前営業日の現地終値です。なお、参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。(以下同じ。)

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首(2025年11月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）(適格機関投資家専用)
 - ・投資対象とした「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）」(マザーファンド)において、保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。
 - ・マザーファンドにおいて、一部の保有債券の価格が上昇したことがプラス要因となりました。
- シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て））
 - ・情報技術、金融、資本財・サービスセクターなどが堅調に推移し、SK HYNIX INC、ZHEN DING TECHNOLOGYなどの組入れがプラス要因となりました。

(主なマイナス要因)

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）(適格機関投資家専用)
 - ・マザーファンドにおいて、一部の保有債券の価格が下落したことがマイナス要因となりました。
- シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て））
 - ・一般消費財・サービス、通信・サービスセクターなどが軟調となり、BILIBILI、BAIDU、MAKEMYTRIP、GRAB HOLDINGSなどの組入れがマイナス要因となりました。

1 万口当たりの費用明細

(2025年 11月 18日～2026年 5月 18日)

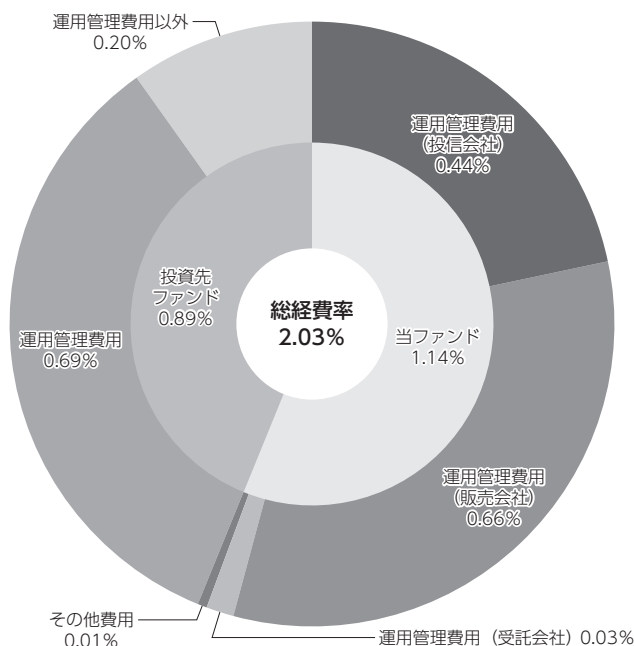
項 目	第160期～第165期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	25	0.565	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(10)	(0.219)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(14)	(0.329)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.007	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	25	0.572	
作成期間中の平均基準価額は、4,340円です。			

- (注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.03%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	2.03
①当ファンドの費用の比率	1.14
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.69
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.20

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

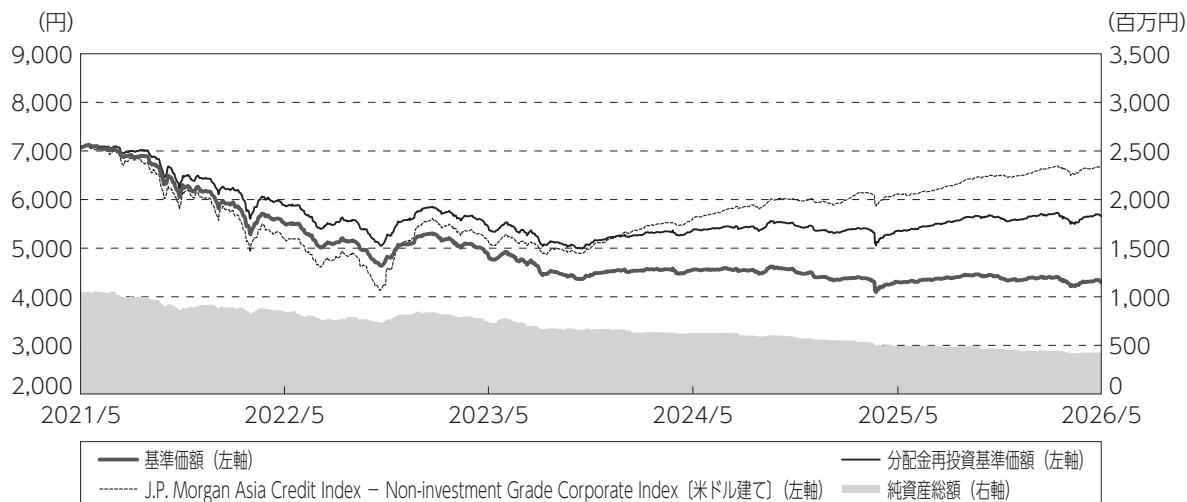
(注) 当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2021年5月17日～2026年5月18日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index (米ドル建て) は当ファンドの参考指数です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2021年5月17日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年5月17日 期初	2022年5月17日 決算日	2023年5月17日 決算日	2024年5月17日 決算日	2025年5月19日 決算日	2026年5月18日 決算日
基準価額 (円)	7,067	5,506	4,846	4,557	4,301	4,295
期間分配金合計(税引前) (円)	—	420	240	240	240	240
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 16.7	△ 7.7	△ 0.9	△ 0.4	5.5
J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate (%) Index (米ドル建て) 騰落率	—	△ 26.3	△ 1.2	9.3	8.9	8.8
純資産総額 (百万円)	1,061	845	741	628	493	421

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。

投資環境

(2025年11月18日～2026年5月18日)

当作成期間のアジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。米国の長期金利上昇が債券価格の上値を抑えましたが、スプレッド（国債との利回り格差）の縮小が市場をサポートし、総じて底堅い動きとなりました。米国債市場では、米国とイランの対立を受けて原油価格が高騰し、インフレ加速を警戒した売りが強まったことから、利回りが上昇（価格が下落）しました。一方、クレジット市場では、AI（人工知能）関連ビジネスへの過剰投資を警戒する動きも見られましたが、作成期を通じてはアジア企業の堅調なファンダメンタルズを背景に、投資家の利回り追求の動きが優勢となり、スプレッドが縮小しました。

当作成期間のアジアCB市場は上昇しました。地政学リスク等を警戒する動きも見られましたが、米国など主要先進国の底堅い景気動向を背景に、投資家のリスク志向が根強く続く展開となりました。また、中国をはじめアジア各国での景気刺激策への期待も市場心理を改善させて買いを促し、作成期間を通じては情報技術セクターや金融セクターなどの銘柄を中心に、堅調な動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年11月18日～2026年5月18日)

<アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジあり) >

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」および「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て））」を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に維持しました。なお、「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て））」については、実質組入外貨建資産に対し、当ファンドにて為替ヘッジを行いました。

○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として、様々な業種への分散投資を図りながら運用を行いました。また、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。当作成期においては、国別ではインドや中国、業種別では消費財や金融への投資比率を高めとしました。

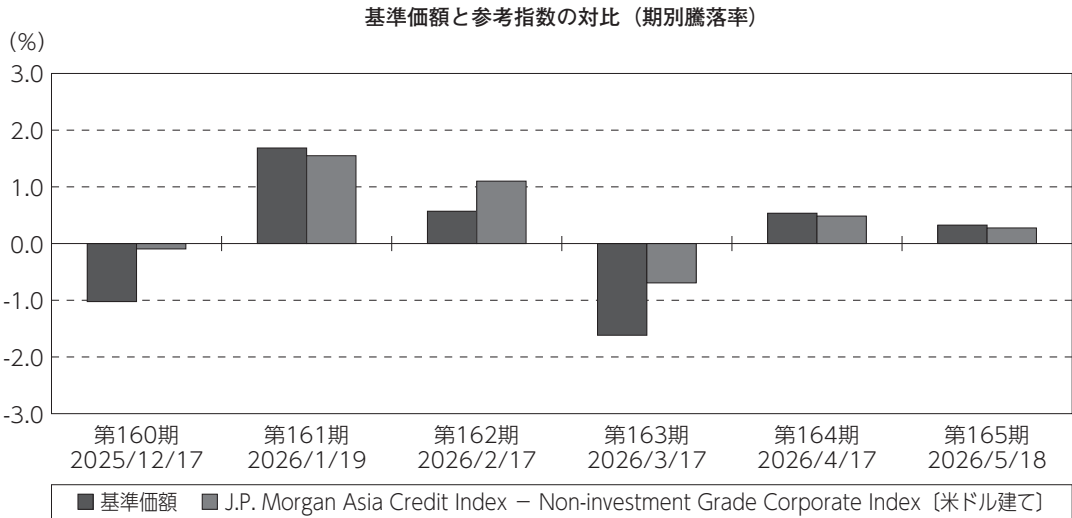
○シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て））

日本を除くアジア企業が発行する転換社債またはその他証券（転換優先株、他社株転換可能債券など）を中心に投資を行い、信託財産の着実な成長を目的として運用を行いました。また、外貨建資産への投資については、為替ヘッジを行いませんでした。当作成期においては、セクター別では情報技術、資本財・サービス、一般消費財・サービスセクターの組入比率を高位とし、国別では中国、台湾、韓国を中心とした組入れとしました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年11月18日～2026年5月18日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。下記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

(注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index (米ドル建て) です。

分配金

(2025年11月18日～2026年5月18日)

当作成期の分配金につきましては、分配方針に則り、分配可能額、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第160期	第161期	第162期	第163期	第164期	第165期
	2025年11月18日～ 2025年12月17日	2025年12月18日～ 2026年1月19日	2026年1月20日～ 2026年2月17日	2026年2月18日～ 2026年3月17日	2026年3月18日～ 2026年4月17日	2026年4月18日～ 2026年5月18日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率)	0.460%	0.454%	0.454%	0.463%	0.463%	0.463%
当期の収益	15	19	16	14	17	18
当期の収益以外	4	0	3	5	2	1
翌期繰越分配対象額	250	250	246	240	237	235

(注) 対基準価額比率は当期分配金 (税引前) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<アジア ハイ・イールド・プラス(毎月決算型)(為替ヘッジあり)>

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)」と「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB(Cクラス(米ドル建て))」を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に保つことを基本とします。なお、「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB(Cクラス(米ドル建て))」については、実質組入外貨建資産に対し、当ファンドにて為替ヘッジを行います。

○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)

アジア・ハイ・イールド債券市場は、概ね横這い推移となることを予想します。米国とイランの紛争が停戦状態となり、今後も地政学リスクへの警戒感が和らぐ中で、投資家の利回り追求の動きを受けたスプレッドの縮小が市場を下支えすると思われます。一方、当面は供給制約から原油価格が高値圏で推移すると見られることもあり、債券市場全般にインフレの長期化を警戒した売りが強まる中で、ハイ・イールド債券の上値が抑えられる可能性も考えられます。このため、市場は総じて揉み合いとなり、当面は方向感のない展開が続くと見込んでいます。

運用においては、マザーファンドへの投資を通じてアジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目指します。なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。

○シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB(Cクラス(米ドル建て))

アジアCB市場は、底堅い推移となることを予想します。足元のグローバルCB市場では、AI関連ビジネスからの旺盛な資金需要を背景に新規発行が増加し、成長期待の高い投資機会が拡大しています。こうした中、アジア市場では、引き続き情報技術セクターを中心に資金流入が強まり、市場が下支えされる展開となることを想定しています。また、今後も金融市場のボラティリティ(変動率)上昇が警戒される中では、CBが持つ株価上昇時の追随力と、株価下落時の下値抵抗力が投資魅力として注目され、支援材料になることも見込んでいます。

運用においては、日本を除くアジア企業が発行する転換社債またはその他証券(転換優先株、他社株転換可能債券など)を中心に投資を行い、信託財産の着実な成長を目指します。なお、外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジは行いません。

お知らせ

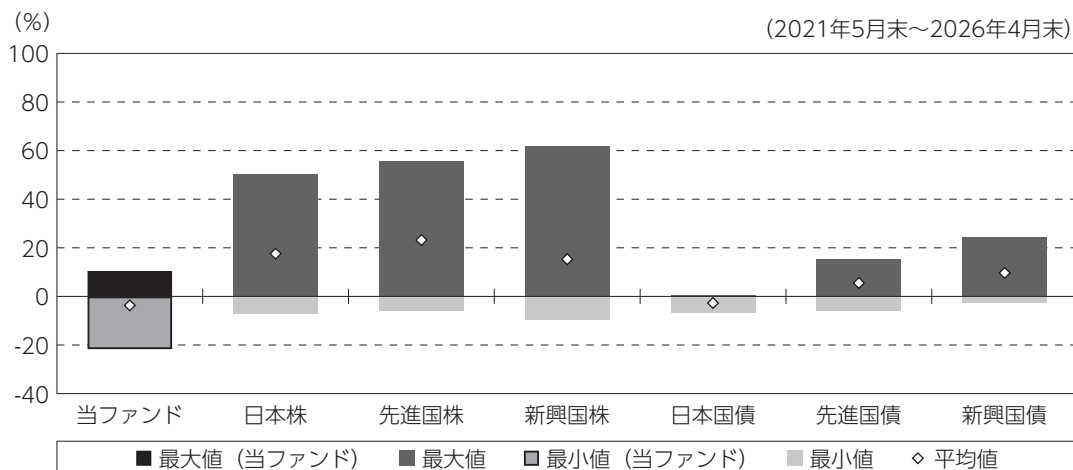
- ・一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年4月1日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款の記載変更を行いました。(実施日：2026年4月1日)

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	2012年8月27日から2027年5月17日までです。	
運 用 方 針	投資信託証券への投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券を中心に、他、転換社債（ＣＢ）等に実質的に投資を行い、投資信託財産の安定した収益の確保と着実な成長を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。	
主要投資対象	当　フ　ァ　ン　ド	・アジア・ハイ・イールド債券ファンドＦ（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）の受益権 ・シュローダー・インターナショナル・セクション・ファンドーアジアＣＢ（Ｃクラス（米ドル建て））の投資証券
	アジア・ハイ・イールド債券ファンドＦ（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	G I Mアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）の受益証券への投資を通じて、アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。
	シュローダー・インターナショナル・セクション・ファンドーアジアＣＢ（Ｃクラス（米ドル建て））	ファンドの資産のうち少なくとも3分の2以上は、アジア（除く日本）企業が発行する転換社債またはその他証券（転換優先株、他社株転換可能債券など）を主要投資対象とします。
運 用 方 法	投資にあたっては、ファンダメンタルズ分析、バリュエーション分析等を基に銘柄を選定します。また転換社債（ＣＢ）に関しては、前記に加え、株価との連動性等を勘案し銘柄を選定します。ポートフォリオの構築にあたっては、金利収入の獲得を重視し、債券価格の上昇による投資信託財産の成長を目指します。	
分 配 方 針	毎月17日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	10.5	50.5	55.7	62.1	0.6	15.3	24.5
最小値	△ 21.7	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値	△ 3.7	17.6	23.2	15.3	△ 2.7	5.5	9.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2021年5月から2026年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

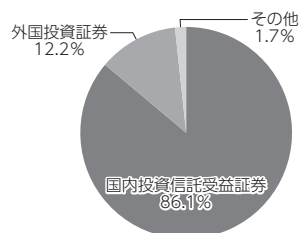
組入資産の内容

(2026年5月18日現在)

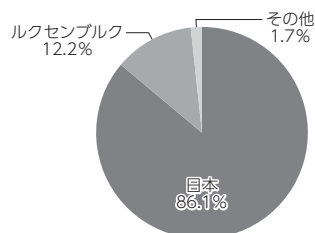
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第165期末
	%
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	86.1
シュローダー・インターナショナル・セクション・ファンド・アジアCB (Cクラス(米ドル建て))	12.2
組入銘柄数	2銘柄

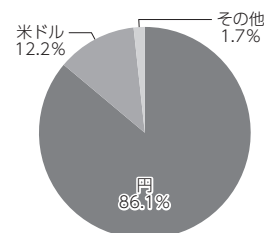
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

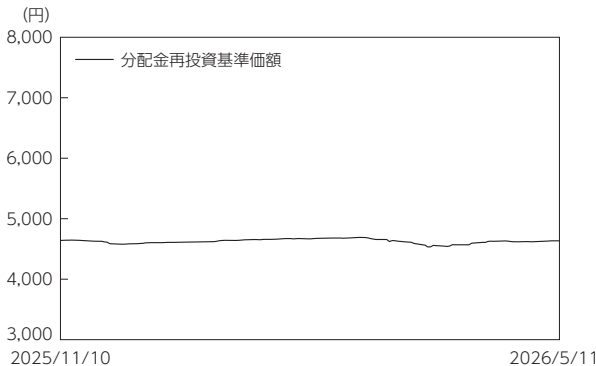
項 目	第160期末 2025年12月17日	第161期末 2026年1月19日	第162期末 2026年2月17日	第163期末 2026年3月17日	第164期末 2026年4月17日	第165期末 2026年5月18日
純 資 産 総 額	453,602,434円	444,811,626円	445,136,609円	430,282,229円	425,000,932円	421,854,492円
受 益 権 総 口 数	1,047,264,972口	1,014,681,432口	1,014,297,176口	1,001,235,193口	988,220,755口	982,138,137口
1万口当たり基準価額	4,331円	4,384円	4,389円	4,298円	4,301円	4,295円

(注) 当作成期間（第160期～第165期）中における追加設定元本額は2,739,595円、同解約元本額は72,342,668円です。

組入上位ファンドの概要

アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)

【基準価額の推移】



(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2025年11月10日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

【1万口当たりの費用明細】

(2025年11月11日～2026年5月11日)

項 目	第168期～第173期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	16 (15) (0) (1)	0.351 (0.329) (0.005) (0.016)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	0 (0)	0.000 (0.000)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用)	5 (4) (1)	0.104 (0.093) (0.011)
合 計	21	0.455

作成期間中の平均基準価額は、4,560円です。

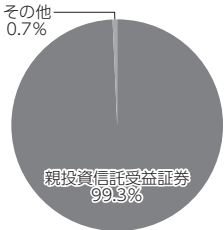
- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書 (全体版) をご参照ください。
- (注) 作成期間中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

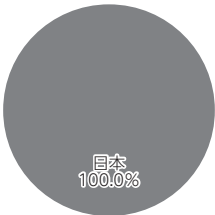
(2026年5月11日現在)

銘 柄 名	投資比率
	%
GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド (適格機関投資家専用)	99.3
その他	0.7
組入銘柄数	1銘柄

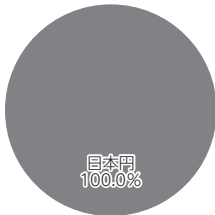
【資産別配分】



【国別配分】



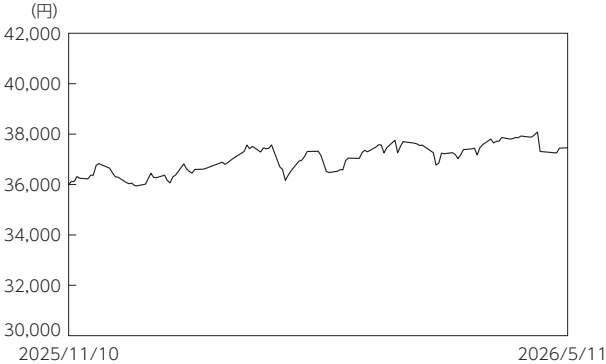
【通貨別配分】



- (注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
- (注) その他は現金・預金・その他の資産 (負債控除後) です。
- (注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。
- (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

＜ご参考＞ G I Mアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2025年11月11日～2026年5月11日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	0 (0)	0.000 (0.000)
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	5 (5)	0.015 (0.015)
合 計	5	0.015
期中の平均基準価額は、37,005円です。		

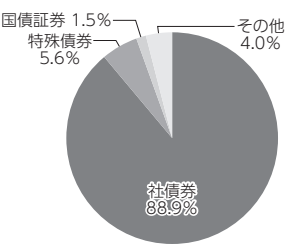
(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

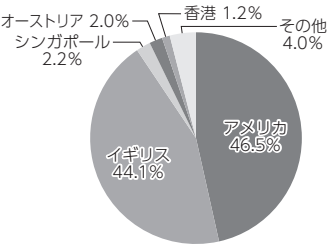
(2026年5月11日現在)

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比率 %
1	WYNN MACAU 5.625% REGS	社債券	米ドル	アメリカ	6.1
2	VEDANTA 10.875% REGS	社債券	米ドル	イギリス	3.0
3	FORTUNE STAR 5.05%	社債券	米ドル	アメリカ	2.8
4	INDIA GREEN POWE 4% REGS	社債券	米ドル	イギリス	2.6
5	VEDANTA 10.25% REGS	社債券	米ドル	イギリス	2.4
6	GREENTOWN CHINA 8.45%	社債券	米ドル	アメリカ	2.3
7	GREENKO 7.25% REGS	特殊債券	米ドル	シンガポール	2.2
8	MELCO RESORTS7.625% REGS	社債券	米ドル	アメリカ	2.1
9	GOHL CAPITAL HOLDING VAR	社債券	米ドル	イギリス	2.0
10	GOHL CAPITAL HOLDING VAR	社債券	米ドル	イギリス	2.0
組入銘柄数			79銘柄		

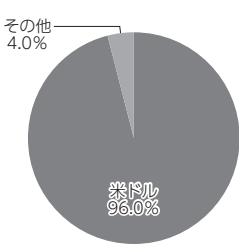
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) その他は現金・預金・その他の資産（負債控除後）です。

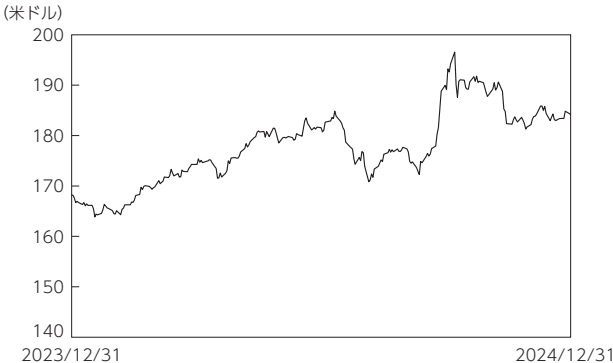
(注) 国（地域）および国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

シュローダー・インターナショナル・セクション・ファンドーアジアC B（Cクラス（米ドル建て））

※シュローダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）・エス・エーのデータを基に、SBI岡三アセットマネジメントが作成し掲載しております。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年1月1日～2024年12月31日)

当ファンドにおける1万口当たりの費用の明細に関する情報がないため、
開示できません。

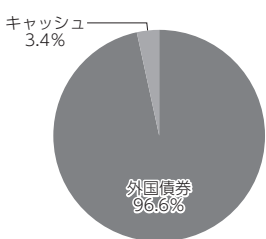
以下は、シュローダー・インターナショナル・セクション・ファンドーアジアC Bの状況です。

【組入上位10銘柄】

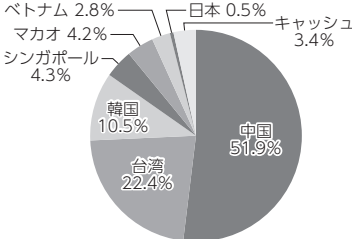
(2024年12月31日現在)

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率%
1	GOLD POLE CAPITAL CO LTD RegS 1% 25 Jun 2029	素材	米ドル	中国	7.7
2	PING AN INSURANCE GROUP CO OF CHIN RegS 0.88% 22 Jul 2029	金融	米ドル	中国	7.2
3	SK HYNIX INC RegS 1.75% 11 Apr 2030	情報技術	米ドル	韓国	6.7
4	QUANTA COMPUTER INCORPORATED RegS 0.00% 16 Sep 2029	情報技術	米ドル	台湾	6.2
5	ANLLIAN CAPITAL 2 LTD RegS 0.00% 05 Dec 2029	一般消費財・サービス	ユーロ	中国	6.1
6	LENOVO GROUP LTD RegS 2.5% 26 Aug 2029	情報技術	米ドル	中国	5.9
7	XIAOMI BEST TIME INTERNATIONAL LTD RegS 0.00% 17 Dec 2027	情報技術	米ドル	中国	5.1
8	SINGAPORE AIRLINES LTD RegS 1.63% 03 Dec 2025	資本財・サービス	シンガポールドル	シンガポール	4.3
9	WIWVYNIN CORP RegS 0.00% 17 Jul 2029	情報技術	米ドル	台湾	4.3
10	HON HAI PRECISION INDUSTRY CO LTD RegS 0.00% 05 Aug 2026	情報技術	米ドル	台湾	4.2
組入銘柄数			35銘柄		

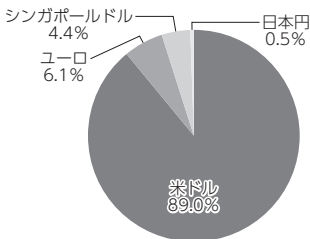
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国（地域）および国別配分につきましてはリスク国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○NOMURA – BPI 国債

NOMURA – BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。